



コザ連覇 猛攻しのぐ

ハンドボール

(30日、豊見城市民体育馆)
【男子】
△決勝
△決勝

GK喜屋武 好セーブ

女子決勝は、コザが前半の劣勢をね返して逆転し、浦添を27-24で下して2連覇を飾った。
コザは前半、浦添に10-11と1点のリードを許して折り返した。後半2分までに山城星楽、瑞慶山紀桜里の連続得点で逆転したが、直後に反則で2選手が2分間の退場でピンチに陥った。

浦添の猛攻に遭い、1点差まで詰め寄られたが、GKの喜屋武香音が好セーブ連発。直後にロングパスで前線にボールを供給し、上江洲詩奈らが次々と速攻を決めてリードを広げた。

興南 38(13-9)23 那覇西

【女子】
△決勝
コザ 27(10-11)24 浦添

女子決勝
コザ—浦添 好セーブ
喜屋武香音
豊見城市民体育馆
(伊禮海撮影)

喜屋武は「気持ちを集中していたので自分が相手のシュートを止めれば、負けないとと思っていた」と胸を張った。
相手GKの頭を越えるループシュートを決めるなど、チーム最多8得点の上江洲は「GKが相手のシュートを止めた瞬間、すぐに走った。勝利に貢献できてよかったです」と喜んだ。

3月の全国選抜は初戦の2回戦で敗れた。その時の悔しさを胸に主将の宮城愛澄は「昨年、先輩が残したペスト8以上の結果を出したいた」と力を込められた。

(平良吉弥)



女子優勝のコザ

興南V19 攻守で圧倒

男子決勝は地力で勝る興南が、攻守で那覇西を圧倒し38-23で勝利し、県総体での連続優勝を19に伸ばした。

興南はGK 2人を除く12人全員が得点した。序盤から激しい守りで相手バスをカットすると、前線の嵩西選手が左サイドから走り込み、前半で6得点するなど、リードを広げ、13-9で前半を折り返した。

後半も勢いを保ち、宣寿次政伍や儀間真らの連続得点で引き離した。チーム最多8得点の嵩西は、那覇西GKの動きを見極め、左サイドからループシュートを決めるなど、多彩に得点。「自分が決めないと勝てないと思って試合に臨んだ。気を抜かずにプレーしてきた」と汗をぬぐった。

3月の全国選抜では8強入りしたが、準々決勝で準優勝した藤代紫水(茨城)に26-29で敗れた。嵩西は無得点に終わり精彩を欠いた。「もっと練習して全国制覇したい」と意気込む。主将の洲謙史成は「全員で相手に立ち向かい、まずは九州一、次は全国を取る」と決意した。

②男子決勝 興南—那覇西
前半、興南の宣寿次政伍が3点目のシュートを決める⑤男子を制した興南

序盤から激しい守り

